

ふるさとを紹介する道「りんこうてつどうあとちせいび臨港鉄道跡地整備」

岡山市では、市街地と南部の拠点である岡南地区を結ぶ延長約6キロメートルに、水と緑のネットワークづくりを進めており、「臨港鉄道跡地整備」の事業もその緑道整備の一部として進められたものである。

岡山臨港鉄道は、昭和59年12月に廃止となり、この整備事業はその鉄道跡地を利用していることから、駅のホームをそのまま利用するなど、鉄道運行当時を偲ばせる工夫を行っている。

また、花木の植栽、ベンチ・壁泉・パーゴラ・トイレなどの設置を行い、やすらぎとおいしいのある緑空間を創出している。

整備後は、安全快適な自転車道路として、散策、ジョギングなどの場として多くの市民に利用されている。



所在地	岡山県岡山市大元駅前～新保
諸元	延長：2,000m、 幅員：13m（代表部分）
関係する施設など	ベンチ、壁泉、パーゴラ、トイレほか
材料	植栽、小砂利、インターロッキングブロック、磁器質タイルほか